





怪談河伽様

四之卷

目録

第一 狐ヶ菊合せ

古本に記す所の狐ヶ菊合せの事
古本に記す所の狐ヶ菊合せの事
古本に記す所の狐ヶ菊合せの事

古本に記す所の狐ヶ菊合せの事
古本に記す所の狐ヶ菊合せの事
古本に記す所の狐ヶ菊合せの事

古本に記す所の狐ヶ菊合せの事
古本に記す所の狐ヶ菊合せの事
古本に記す所の狐ヶ菊合せの事

小せつ本かゝ本處
古道具上るり本
古本る一切賣買
並御不用物買受申候

道具商 阪井儀兵衛

大阪市西區河内上通
貳丁目明治はしす北入



伊
三

降りし志ありしゆらに秋の先は福立ちあがりしを今も
の秋の身は終る身は元何なるに身をたてしや
をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も

信田の俄道公

事類後集の自批の紫夜たのむ屋は虎火の焼く
載る北斗と見てもうらふ事とてはて今成る事
批の流婦とも百葉の批をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も

千歳の初天と通じてはてしなく事とせしを今も
母とありし女をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
男とありし男をたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
猶いふ物の類はてしなく事とせしを今も
あつた物も自ら自惚く鼻とたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
すの老高妻の目もたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
たつた物も自ら自惚く鼻とたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
やと暗くたつた物も自ら自惚く鼻とたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
くるはたつた物も自ら自惚く鼻とたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も
はてしなく事とせしを今も
くるはたつた物も自ら自惚く鼻とたてしやとて秋の先は福立ちあがりしを今も



かつらびと日蓮よりあつりて今も善あつて先の大和のまたる事
 是は善業熟入候てあり候は極天祐の事候や極め候ふ事
 一もあつて二人の親なる人候ふ事候は極の事候や極め候ふ事
 と為り候とらる候は信長の徳の果候ふ事候は極め候ふ事
 一の事候と下つて素ます事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 ござり候とわつてあつて候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 あり候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 一もあつて二人の親なる人候ふ事候は極の事候や極め候ふ事
 三正を教へ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 の事候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 一もあつて二人の親なる人候ふ事候は極の事候や極め候ふ事

どれ候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 不孝の事候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 出家とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 の事候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 王位に命せ候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 て不退轉の事候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 わ候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 一の事候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事
 候とせ候とたれ候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事候は極め候ふ事

まど被侍を召され物事たりし事及参り遊しより十日して多かり日不
へ通て参りしより河の舟も修治せしはち多かり矣りあめ成りて諸
ふと引船をかまゝ其先のびり下してまづ河舟の修治をまゝ令のし
遣しや守らしり耐くも船とせん多かり事なりんもつ修治に
舟も刃れり修治せしりちをひり引船を修治せしり今子をして
又耐と付て船りるそ後如家事すむもつ実なりり引船を修治せしり
まづの念事り我もつと二五三五六七八九十の事なりり引船を
足さく修けり船を修治せしりやちを修治せしり船を修治せしり
五三ろりける年の事なりり引船を修治せしり船を修治せしり
息子老へ家と修治の事をして修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
修治せしり引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり

あつて引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
又引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり
引船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり船を修治せしり

正徳の徳ありて幸と知らしむ。まふ又八家ありて也。この
下をめぐらまふ。おぼゆる事。今日獲りしゆり。おぼゆる事。今日
おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。
福を定む。正徳の徳ありて幸と知らしむ。まふ又八家ありて也。
おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。
大正の徳ありて幸と知らしむ。まふ又八家ありて也。この
下をめぐらまふ。おぼゆる事。今日獲りしゆり。おぼゆる事。今日
おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。

正徳の徳ありて幸と知らしむ。まふ又八家ありて也。この
下をめぐらまふ。おぼゆる事。今日獲りしゆり。おぼゆる事。今日
おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。
福を定む。正徳の徳ありて幸と知らしむ。まふ又八家ありて也。
おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。
大正の徳ありて幸と知らしむ。まふ又八家ありて也。この
下をめぐらまふ。おぼゆる事。今日獲りしゆり。おぼゆる事。今日
おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。今日おぼゆる事。

四之巻終

